

2024 年度取締役会の実効性評価について

当社は、取締役会の実効性評価向上を図るため、毎年 1 回、取締役全員に対してアンケートを実施し、取締役による自己評価を行うとともに、各取締役に対する個別インタビューにより改善点や課題を抽出し、取締役会で分析・評価を行っております。2024 年度に実施した取締役会の実効性評価のプロセス及び結果の概要は以下のとおりです。

記

1. 評価プロセス

(1) アンケート

- ① 対象者 取締役 11 名全員（社内取締役 5 名、社外取締役 6 名）
- ② 回答方式 5 段階の選択方式
- ③ 主な評価項目
 - ア 取締役会の規模・構成について
 - イ 取締役会の運営について
 - ウ 社外取締役について
 - エ 取締役会を支える体制について
 - オ 子会社の管理について
 - カ リスクマネジメントについて
 - キ 取締役のトレーニングについて
 - ク 指名委員会、監査委員会及び報酬委員会について
 - ケ サステナビリティの取組みについて
 - コ ステークホルダーとの対話について

(2) インタビュー

- ① 対象者 取締役全員
- ② インタビュアー 取締役会事務局
- ③ インタビュー内容 アンケートの結果を踏まえた個別インタビュー

2. 取締役会での分析・評価

取締役会はその役割、責務を果たしているなど、おおむね適切に機能しており、取締役会の実効性が確保されているが、中長期的な経営戦略の方向性、社外取締役や執行部と

のコミュニケーションについて改善すべき点が指摘されました。

3. 前回の評価結果を踏まえた取り組み

(1) 中長期的な企業価値の創出と持続的な成長を踏まえた経営戦略に関する実効性の高い議論

- ・ 執行側や各委員会からの取締役会への情報提供が充実し、中長期的な経営戦略に関する理解が深まることで、活発な議論が行われました。

(2) 子会社管理体制の強化

- ・ 内部統制、リスク管理、内部監査、コンプライアンス体制など、多岐にわたる領域において改善策が実行され、管理体制の実効性が大幅に向上しました。

(3) モニタリングモデルを理念とする指名委員会等設置会社の実効性向上

- ・ 監督と執行がそれぞれの役割を確認し、モニタリング機能強化のため取締役会の最適な構成に関して活発な議論を実施しました。今後も継続的に取り組んでまいります。
- ・ 社外取締役は、各委員会や取締役会において、積極的に意見交換や議論に参加しました。
- ・ 社外取締役による意見交換会を定期的に開催しました。

4. 今回の課題への対応

2024 年度の実効性評価において抽出された課題を踏まえ、2025 年度においては、主に以下の取り組みについて推進することを決定いたしました。

- (1) 企業価値向上と持続的な成長に向けた戦略的議論の質の更なる向上
- (2) 取締役間及び執行部との更なるコミュニケーションの充実
- (3) 子会社管理体制の強化と実効性向上

当社はこれらの取り組みを通じて、取締役会の実効性評価向上を図るとともに、コーポレートガバナンスの一層の強化に努めてまいります。

以上